

旅館探訪

星野リゾート 界遠州

かいえんしゅう



伝統とモダンが調和する「遠州つむぎの間」。すべての客室から浜名湖の壮麗な眺望が楽しめる。日常を忘れて極上のリラックスタイムを。

浜名湖畔に佇む温泉旅館

遠州綿紬に囲まれた空間で
極上ステイを

星野リゾートが全国13カ所に展開する温泉旅館ブランド「界」。和の趣を大切にしながら、現代的な心地よさを追求した空間、その土地ならではの伝統文化を生かしたサービスに定評がある。

浜松市の西部、浜名湖かんざんじ温泉にある「界 遠州」では、遠州綿紬の販売や企画を行う「めくもり工房」とコラボレーションし、伝統織物の魅力が詰まった「遠州つむぎの間」を導入。ベッドライナー、サンダル、クッション、障子など、客室の至るところに独特の縞模様があしらわれ、あたたかみのあるモダン空間を演出している。浜名湖うなぎや旬の地場食材を使った会席料理、2つの異なる大浴場のほか、お茶処ならではのおもてなしも魅力。時間とともに移りゆく湖を眺めながら、贅沢な時間を過ごしてほしい。



1. スタイリッシュな露天風呂。内湯では、静岡ならではの「茶葉入浴」が体験できる。
2. お茶に親しめるサービス「美茶楽(びちゃらく)」で、緑茶の新たなおいしさを発見。
- 3.じっくりと焼き上げた名産の浜名湖うなぎ。キレイのあるタレが特徴。

【星野リゾート 界 遠州】 ☎0570-073-011(界予約センター)
浜松市西区館山寺町399-1 アクセス: JR浜松駅より車で約40分
客室数: 33室 IN/15:00 OUT/12:00
料金: 24,000円~(シーズンにより異なる) <http://kai-enshu.jp>

浜名湖へ来たら… 織物の聖地へ



中央が本殿。右手の織殿(おりどの)は、かつて神衣を織っていた場所。中には800年前に使われていたものと同じ形の織機が保存されている。



新たに復元された織機

初生衣神社(うぶぎぬじんじや)
伊勢神宮と結びつきが
深い由緒ある神社

1154年から1885年まで、皇大神宮(伊勢神宮の内宮)に、神衣[※]を納めていた歴史ある神社。機織の祖神である天棚機姫命(あめのたなばたひめのみこと)を奉り、宮司は古来より神服部(かんはとり)一族が務めている。明治になり、神衣を納める慣習は途絶えたが先代の宮司が復活させ、毎年4月の「おんそ祭り」の後、5月15日に伊勢神宮へ奉納されている。織物の聖地といわれ、今なお、遠州織物の発展を見守り続けている。

※神衣(かんみそ)とは、天照大神(あまてらすおおみかみ)が天岩戸から出てきたときに着たといわれる衣のこと。



絵馬とお守りには織姫が。

【初生衣神社】
浜松市北区三ヶ日町岡本698
TEL.053-525-1835
<http://ubuginu.jp/html/about.html>